

拠出金名：アセアン事務局拠出金

分担金・義務的拠出金の有無		有(所管官庁)		無	
当該機関等に対する分担金を含めた平成20年度の拠出総額				10,471,773千円	
国際機関等名	東南アジア諸国連合 (英文名称・略称) Association of Southeast Asian Nations(ASEAN)				
種別	国連(事務局)	国連(基金・計画)	国連専門機関	その他	
所管官庁担当局課名	農林水産省大臣官房国際部国際協力課				
最近3年間の我が国支払額及びODA率					
単位	邦貨 (千円)	外貨1 (千ドル)	外貨2 (千)	レート	ODA率(%)
平成20年度	353,103	3,125		1米ドル = 113円	100
平成19年度	379,877	3,275		1米ドル = 116円	100
平成18年度	389,830	3,512		1米ドル = 111円	100
当該拠出金の目的・用途等	会議開催費、事業運営費、研修実施・専門家派遣費等				
拠出上位5ヶ国・地域・機関等 (2008年のもの)				国際機関等の財政 (2007年度決算)(千米ドル)	
	国名	金額 (千ドル)	拠出率 (%)	当該年度の収入	3,912
1位	日本	3,125	100.0	当該年度の支出	3,243
				次年度への繰越	669
				会計検査機関名	
				Ernst & Young Ltd.	
当該機関等に対する我が国としての評価 (当該機関等の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)					
東南アジア諸国がASEANの枠組みの下で域内協力を推進することは、アジアの安定・繁栄のために極めて重要であり、我が国にとっても有益であるところ、東南アジア諸国の安定の確保及び将来的な域内統合に向け、ASEAN事務局を通じて協力を一層推進する必要がある。					
合理化、機能強化のための改革が行われているか。 行われている場合はその現状と我が国としての評価					
我が国としては、ASEANにおけるASEAN事務局の機能強化の動きを高く評価。今後、ASEANの目指す域内統合に向け、我が国が必要な資金の拠出等を通じて支援することは、対ASEAN外交を進める上で非常に有益である。また、ASEANは我が国が主導する東アジア共同体構築の上でコアとなる以上、ASEANへの協力を通じてアジア全体における我が国プレゼンスを示すことは極めて重要である。					

「邦人職員数うち幹部以上」以下の項目については、「日・ASEAN統合基金拠出金」の頁(P. 36)参照

(参考)この機関には農林水産省の他、外務省、財務省及び経済産業省予算から拠出している。